

アジア・パルプ・アンド・ペーパー、国家木材合法性基準の 100%順守を公約とするインドネシア業界団体に賛同

インドネシアの業界団体、国家木材調達政策における
木材供給源の合法性検証システム (SVLK) 認証基準の承認を求め世界中の政府に呼びかけ

ジャカルタ、2011 年 3 月 10 日 – 世界的な紙パルプ会社で、ジャカルタに本社を置くアジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（以下 APP）は、インドネシアの国家木材合法性およびトレーサビリティ基準を支持し、これを順守する木材製品の輸出に関わるインドネシアの主要な業界団体および企業と協力することを発表しました。また、業界団体は結束して世界中の国々に対しインドネシアの基準の認知および承認を呼び掛けています。

APP の持続可能性担当役員であるアイダ・グリーンベリーは次のように述べています。「本日はインドネシア紙パルプ協会（APKI）及びインドネシア全国のメンバー会社の方々を代表して、皆様にメッセージと行動を呼びかけたいと思います。APKI 加盟メンバー会社は、森林合法性に対するインドネシア国家規格を 100%順守することに共同で取り組んでいます。インドネシアのパルプ材サプライチェーンへの違法伐採木材は許さず、認めないことを世界に対して宣言します。」

2009 年に制定されたインドネシアの CoC 認証プログラムは、厳格な木材供給源の合法性検証システム(Sistem Verifikasi Legalitas Kayu、以下 SVLK)を採用しており、輸出される木材製品は合法であり、且つ検証された供給源までのトレースを保証しています。合法的な供給源からの SVLK は、森林業界のライセンス、伐採、輸送、加工に関わるインドネシアの規制に従った合法的な供給源からの木材加工製品のみを、森林業界が受け入れるために策定されたものです。この認証システムは、持続可能な森林管理認証(SFM)を全面的に取得するための重要なステップとなります。

グリーンベリーは 2011 年 3 月 10 日（木）にジャカルタで行われたフォーラムで、インドネシアの木材製品を輸入している諸外国は、インドネシア製品が高水準の木材合法性基準と SFM 認証に順守した SVLK 指針に沿って認められていることに全幅の信頼を置き、また、世界中の国々が自国の自然林保護の過程で法的保護を与えたように、こうしたインドネシアの基準も同様に受け入れられるべきであると述べています。

グリーンベリーは次のようにも述べています。「これらの原則に従い、インドネシア市民の利益のため、健全な紙パルプ業界を構築するというインドネシア政府の政策を各国政府が理解し、自由で公平な貿易を世界各国とインドネシアが行う機会を与えられるべきであると考えています。各国はインドネシアに対して互恵的なフェアトレードを認め、インドネシアの権利や機会を事実上完全に制限してしまうような規制の成立を控えた、平等の貿易機会を与えていただくことが必要です。」

成長過程にあるインドネシアの経済にとって、活発な成長を続ける紙パルプ業界は必要不可欠です。森林関連産業はインドネシアの GDP の 3.3% に相当する、約 180 億ドルの貢献をしています。これはアジア地域の国々での 1.1% という平均値に比べ 3 倍以上になります。紙パルプ産業は、インドネシアの森林関連産業の総労働人口 600,000 人のうち約 250,000 人を占め、また、インドネシア国家歳入で林業セクターが占める 70 億米ドルの約半分を生み出しています。

グリーンベリーは、次のように述べています。「国連ミレニアム開発目標への支持の一環として、インドネシア政府は貧困をなくすことを強くコミットしています。その中で、紙パルプ業界は、雇用創出および地域開発、社会的地位向上プログラムなどへの取り組みにおいて重要な役割を果たしています。インドネシア全土の APKI 加盟メンバー会社は、様々なステークホルダー、政府首脳、地域 NGO、地域のリーダーなどとパートナーシップを組み、SFM 認証を得るための努力を進めるための環境作りに協調して取り組んでいるのです。」

インドネシア、EU、米国、オーストラリア、日本などの公共、民間を含む各方面からの林業界のステークホルダーが参加したフォーラムにおいて、グリーンベリーは、パルプ材供給源の 100% 認証、CoC 認証、合法性供給源の検証、およびトレーサビリティシステムの順守といった APP の目標達成の概要を説明しました。また、APP が将来に向けリーダーシップを取って着手している新たな計画の一部を紹介しました。SFM 認証および認証基準に加え、植林や紙生産過程での気候変動、CO2 排出への影響を削減し、浄水プログラム、貧困軽減を目標とした地域社会活性化プログラムなど、会社全体を挙げての努力がこのロードマップには組み込まれます。

「2020 年、またその先を見据えた APP のビジョンの下、持続可能な森林管理および紙生産のためのロードマップを策定しています。その APP2020 ビジョンの柱となる政策としては、2015 年末までにパルプ材供給の 100% を持続可能な植林地から調達する、2015 年末までに APP の紙パルプ供給業者がインドネシア政府により課された SFM 認証義務を達成する、そして 2020 年末までに専属パルプ材供給会社の全てに、任意で包括的な LEI 認証を取得させることが挙げられます」とグリーンベリーは述べました。

「これらの目標は持続可能な森林管理プログラムの基礎を形成し、世界中のお客様が、SFM 認証への対応と、違法な木材供給からのサプライチェーンの保護に対して、インドネシアと APP が真剣に取り組んでいるという信頼感を与えることにつながります。」

++

APPについて

APPは、インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトゥナ、ユニヴィーナスなど、インドネシアにある多くの工場で生産されている紙製品の総合ブランドです。インドネシアに本社を置くAPPは、120ヶ国以上の国々で製品を販売しています。APPの生産設備の大部分はLEIとPEFCによるCoC（加工・流通过程）認証を取得しています。

本件に関するお問い合わせ先：

APP インドネシア サステナビリティ及びステークホルダー関係担当 PRマネージャー
Loren Mack

Email: Loren_M_Mack@app.co.id

www.asiapulppaper.com

携帯: +62-821-136-952-57

Fax: +62-21-316-2617

住所: c/o BII Plaza Tower 2 fl. 15th
Jl. MH. Thamrin No. 51, Jakarta 10350